

みやぎのだより

No. 109

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成31年3月28日



青年部大崎支部視察研修会

CONTENTS

購買・指導研修会を開催	1	牛群検定～優良事例紹介～Vol.13	10
各青年部で研修会の開催	2	酪農技術シリーズ⑩	11
各婦人部で研修会の開催	3	輸入粗飼料情勢	13
青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流 ボウリング大会	3	平成30年度 生乳生産実績	14
畜舎環境美化コンクール審査会開催	4	理事会通信	14
平成30年度		売りたいし、買いたいし	15
畜舎環境美化コンクール入賞作品発表	4	人事のお知らせ	15
哺育育成センターからのお願い	9	編集後記	15
生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会 モニタリング実施	9		

購買・指導研修会を開催

購買課、指導課

2月20日本所、21日仙南支所にて購買・指導研修会を開催しました。

今回は午前と午後の二部構成に分け、カネコ種苗(株)仙台支店 小泉氏と、共立製薬(株)仙台営業所 真山氏のお二人を講師に招き講演していただきました。

小泉氏からは『宮城県の飼料作物の栽培体系と牧草農薬について』と題して、牧草種子で重要視される育種目標や、各種除草剤についての説明をしていただきました。また、真山氏からは『乳房炎ワクチンで何が変わる？～乳房炎ワクチン最新情報～』と題して乳房炎対策ワクチン『スタートバック』の効能や導入事例について紹介していただきました。

二日間あわせて54名の方が参加され、真剣に聞き入って活発に質問をされておりました。



(購買課研修会)



(指導課研修会)

～除草剤のタイプを知りましょう～

茎葉処理剤

成分は植物の葉や茎から吸収されます。成分が土壌に落ちると素早く不活性化するので、植物の根から吸収されることはありません。そのため、これから植物を植える予定がある場所の除草に適しています。すばやく効果がありますが、雑草の発生を抑える効果はありません。



土壌処理剤

成分はいったん土壌に移行して、雑草の根から吸収されます。それと共に土壌に処理層を形成するので、長期間雑草の発生を抑えることができます。



製品概要 (成分及び規格)

- ✓黄色ブドウ球菌 (CP8) SP140株 不活化菌体
- ✓スライム関連抗原複合体 (SAAC) 産生株
- ✓大腸菌J5株 不活化菌体



規格
①1バイアル2mlの20本入 (1箱)
②1バイアル40mlの1本

日本初の2価不活化乳房炎ワクチン

育種目標5：種子生産性の改善 (生産力検定)

1. 単位面積当たりの採種収量が高いかどうか？
⇒生産コストダウンと価格競争力、利益率の向上
2. 種子生産時の出穂揃いが良いかどうか？
⇒安定生産、一斉収穫による品質の均一化
3. 生産種子の形状が良いかどうか？
⇒販売のしやすさ、売りやすさ
4. 生産種子の種子寿命が長いかどうか？
⇒売り残した際の越年在庫管理が可能
⇒不良在庫の回避、2年分1作による安定供給
短い場合、新種入荷年で発芽が落ちていく

乳房炎ワクチンを接種する前に

正しい接種が行われなければ効果は発揮されない

- 3回目の接種を失念してしまう、1回目と2回目の接種間隔が推奨以上に空いてしまう等、効果が期待できないケースがあります。

守備範囲を外れると効果が望めない

- SA・CO・CNSに効果が期待できますが、乳房炎の原因菌がワクチンにマッチングしていなければ接種しても効果が望めません。

日頃の乳房炎対策の重要性は変わらない

- 牛舎の環境対策、搾乳衛生・搾乳機器対策、暑熱対策などにスタートバックを加えることで更なる乳房炎コントロールの向上が期待されます。

各青年部で研修会の開催

指導課

青年部本部では仙台市の茂庭荘にて、株式会社野澤組の太田氏を講師に向かえ「ゲノミック解析と活用法について」と題して研修会を開催しました。牛群改良の新たなツールとして定着しつつあるゲノミック検査は、後継牛の選択・交配パターンの決定・牛群の評価などを客観的に行うことで、遺伝的に強い牛群づくりを可能にできることもあり、参加した部員はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



(青年部本部研修会)

また、青年部大崎支部、青年部栗原支部では、石巻飼料株式会社において視察研修会を行いました。普段給与している飼料の見識を深める事を目的とした研修会で多くの部員が参加されました。

工場の職員の方から石巻飼料工場の概要や年間製造量の説明を頂き、参加者からも積極的に質問が飛び交っていたりと有意義な研修となりました。工場内見学では初めて見る機械ばかりで、皆さん大変興味を惹かれた様子で真剣な表情で見学されていました。

両支部とも研修会終了後は懇親会を行い、お食事をしながら部員同士の交流を深める事ができました。今回の視察研修を踏まえ、今後の酪農経営のお役に立てていただきたいと思います。



(青年部大崎支部)



(青年部栗原支部)

各婦人部で研修会の開催

指導課

婦人部仙南支部では、大河原町の「おおがわら天然温泉 いい湯」にて紫外線で固まる樹脂で作る、「牛のイニシャル入りレジンキーホルダー教室」を開催しました。今回の研修会は当支部の佐久間幸枝さんを講師に招きたくさんの部員が参加され、個性のある形に仕上がり素敵なオリジナルキーホルダーになりました。

また、婦人部栗原支部では、栗原市の「中照越分館」にて雪印メグミルクの菊地氏、桜井氏を講師に向かえ料理教室を開催しました。当日は13名が参加され、牛乳を使った4品を作りました。その後、昼食を摂りながらの懇親会では、近況情報交換もされており親睦を深め楽しい時間を過ごせました。



(婦人部仙南支部)



(婦人部栗原支部)

青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流ボウリング大会

指導課

平成31年2月11日(月)大河原町「ボウルジャンボフォルテ」にて青年部仙南支部と酪青研仙南地方連盟共催の第18回交流ボウリング大会を実施しました。

毎年恒例となっているこの活動は、部員間の家族ぐるみの交流を目的にこの時期に開催しています。

大人と子ども合わせて39名が参加し、会場では一投ごとに大きな歓声や拍手・笑い声があがっていました。今年度もこれからの酪農を担う子どもたち、後継者や仲間との大切な交流の場となりました。



畜舎環境美化コンクール審査会開催

指導課

1月28日(月)みやぎの酪農農業協同組合本所大会議室において「平成30年度畜舎環境美化コンクール」の審査会を開催しました。

このコンクールは、畜舎のイメージアップと畜産物の消費拡大を推進するため、県内の酪農家の環境保全意識向上を図り経営の安定的発展を目的としております。年度当初に全戸に配布された花の苗を育て、その花を基調として牛舎周辺を草花で彩り、その美しさを写真に収め競うことになっており、毎年婦人部の後援により毎年開催されております。

また、審査には宮城県農林水産部畜産課草地飼料班 石黒技術主査、雪印種苗株式会社 東海林所長、伊藤組合長、婦人部・佐藤部長をはじめ13名が審査にあたりました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞には栗原支部の菅原純子様、本吉支部の阿部恵美子様の2名に決定いたしました。



平成30年度 畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表



最優秀賞

栗原支部

菅原純子さん





最優秀賞

本吉支部

阿部恵美子さん



優秀賞

栗原支部

鈴木咲子さん





優秀賞

仙南支部

木村せい子さん



優良賞

栗原支部

千田悦子さん



優良賞

石巻支部

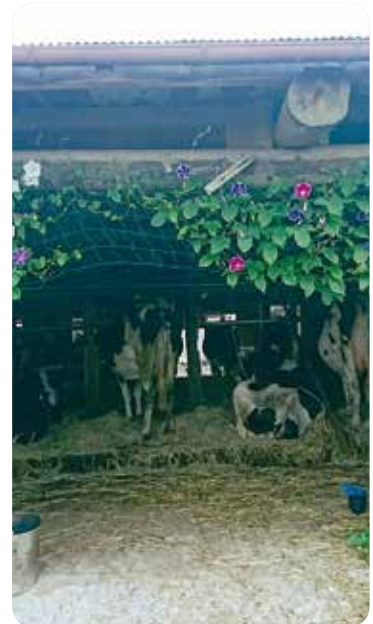
伊藤生子さん



優良賞

石巻支部

横田孝子さん





優良賞

石巻支部

須藤しづ子さん



優良賞

仙南支部

佐久間幸枝さん



哺育育成センターからのお願い

指導課

3月1日現在、哺育育成センターでは254頭、蔵王キャトルセンターには132頭の育成牛を飼養しており、どの月齢も空きがない状況となっています。

そうした中、入牧待機子牛が45頭にまで増え、入牧まで約3ヶ月待ちとなっております。このような状況が当面の間、続くことが予想されることから、早期下牧(分娩3ヶ月前)と子牛へのスターターの給与をしていただきたくお願いいたします。

今後とも哺育育成事業に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会 モニタリング実施

指導課

2月25日(月)に「生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会」が県内4地区において、酪農生産現場での管理基準記帳状況とチェックシート記入のモニタリングを実施しました。

当協議会は宮城県、乳業メーカー、酪農団体、共済組合、獣医師会、動物医薬品団体、飼料団体で構成されています。組合員270名を対象とした2月時点でのチェックシート完全記帳率は94.8%でした。

チェックシートは酪農家が日々の生乳生産の記録や農薬、肥料、抗生物質製剤等の使用に関する記帳・記録を行い保管するものです。

食品安全基本法による食品事業者として、記帳・記録・保管が義務となっています。食品への安全・安心に対する社会的要求が高まっている今、生産者としての自己防衛と国産牛乳・乳製品への信頼向上を図るために必要な作業なので必ず記帳するようにして下さい。

今後も処理室の清掃等を行うとともに、「生乳生産管理チェックシート」へ記帳・記録を行い、動物用医薬品等の休薬期間を厳守し必ず出荷前の検査を行いましょう。



片倉牧場（片倉正人さん、正治さん）

●牧場の概要（平成31年1月現在）

- ＊所在地：大崎市 ＊代表 片倉正人さん
- ＊飼養頭数：58頭（経産牛36頭、育成牛22頭）
- ＊年間出荷乳量：約200t
- ＊補正乳量：約9,000kg／頭
- ＊飼料作付面積：牧草 19.3ha



新牛舎でのみやぎ生協産地見学会

●牧場のこだわり

①新牛舎と省力化機器整備

平成26年12月の大雪による被害を受けて牛舎が倒壊したため、近隣の離農した農家の牛舎を借りていました。平成30年7月に飼料自動給餌機（マックスフィーダー）や搾乳ユニット搬送レール（乳量計付自動離脱装置及び搾乳ユニット・6機）などの省力化機器を導入した牛舎を新設しました。

②消費者交流

鳴子上原地区11戸で組織する上原酪農組合の組合長を務め、酪農組合員とともに生産した生乳をみやぎ生協へ「めぐみ野 鳴子上原酪農牛乳」として供給しています。

消費者との交流にも積極的に取り組んでいて、平成30年9月に開催されたみやぎ生協産地見学会では、参加したみやぎ生協畜産委員会の皆さんへ新牛舎の作業環境や飼養管理の工夫について説明したり、酪農組合員の奥さま方にも加わっていただき、上原酪農指導センターで手料理の昼食を一緒に食べながら交流を深めました。参加者からは、「牛舎が衛生的だ」、「酪農組合員に若い後継者が多く頼もしい」などの感想があり、見学会で学習したことは県内各地の生協組合員へ伝達され、酪農組合のPRにもつながっています。

●牛群検定の活用方法

新牛舎へ引っ越したことで、牛も人も環境が大きく変わりましたが、早期に生産性や繁殖性を向上させるために、牛群検定成績を活用しています。検定成績からは、特に体細胞数などを確認し、乳質や飼養管理の改善に役立てています。また、NOSAIによる血液生化学性状の分析結果も併せて活用しています。

さらに、省力化機器とともにパソコンを導入し、乳牛飼養管理ソフトを利用しています。乳量計付自動離脱装置から得られる乳温・電気伝導度や乳量データから、牛の健康状態などを把握するとともに、マックスフィーダーの給餌量に反映させることで個体管理に取り組んでいます。



上原酪農組合の皆さんと（前列右から1人目が正人さん、後列左から2人目が正治さん）

●牧場から一言

牛群検定成績は、日頃の飼養管理や繁殖管理などが反映されるもので、取組の成果が素速く確認できます。そのため、総合的な判断材料として経営に活用することができます。

3年6か月の間通勤酪農でしたが、これからは自宅に隣接する草地の管理がしやすくなるので、たい肥の活用と自給飼料の品質アップに取り組めます。

（文責：大崎農業改良普及センター 千葉）

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------|------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | （（一社）宮城県畜産協会内） | TEL：022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | （（一社）宮城県畜産協会仙南事業所内） | TEL：0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | （（一社）宮城県畜産協会中央事業所内） | TEL：0229-34-3304 |

移行期の管理について ～生理的变化と諸問題の整理～

いつもお世話になっております。花粉が舞い始め、春の訪れも近くなってきたこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回は移行期にみられる生理的变化と諸問題にふれていきたいと思います。

● 移行期とは

狭くは、分娩21日前～21日後、広くは分娩60日前～60日後を移行期と呼びます。この時期の管理が、その後の牛の健康、経営に大きな影響を与えます。

● 移行期の様々な生理的变化

産褥期

- ① 日乳に伴う栄養要求量の増加
- ② 栄養要求量に対する摂取栄養量（乾物摂取量）の不足
- ③ 蓄積された体脂肪とタンパクの利用（BCS低下）
- ④ 卵巢機能の回復
- ⑤ 栄養素の利用分配優先順位の変化
- ⑥ カルシウムの吸収と放出のバランス

乾乳期

- ① 乳腺組織の退行と再生
- ② 分娩後に再生する原子卵胞の発現と発育
- ③ 胎児の急速な発育と栄養要求量の増加
- ④ 分娩前の乾物摂取量の低下
- ⑤ 粗飼料主体の飼料摂取に伴うルーメン絨毛の縮小と再増殖
- ⑥ 栄養素の利用分配優先順位の変化
- ⑦ カルシウムの吸収と放出のバランス

移行期間中の乳牛では上記のような生理的变化が生じます。そのため、親・子ともに健康な状態で分娩・出生を迎えるには、搾乳牛とは異なる栄養管理が必要になります。

● 移行期にみられる問題点の整理

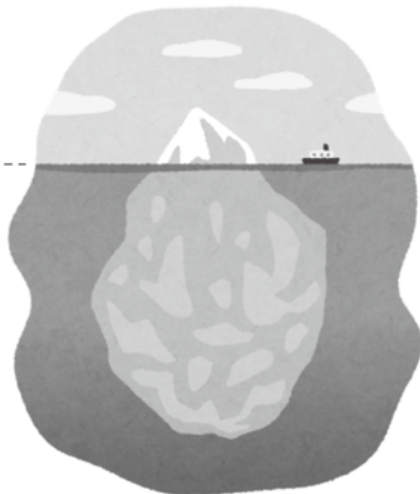
移行期にみられる問題は、明らかな問題と潜在的な問題があります。

明らかな問題

起立不能、第四胃変位
臨床性ケトーシス、乳熱
（低カルシウム血症）、
胎盤停滞、乳房炎、
繁殖障害、泌乳量低下

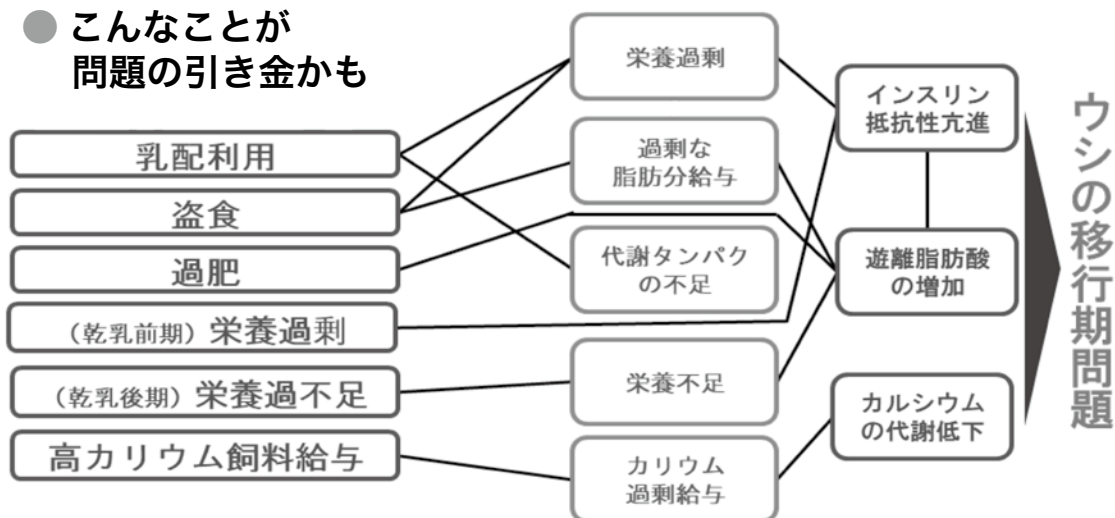
判断しづらい問題

潜在性ケトーシス
潜在性低カルシウム血症



明らかな問題がご自身の農場で多くみられる場合、下記のような状況があるかもしれません。

● こんなことが 問題の引き金かも



● 乾乳・移行期の栄養バランスについて

エネルギー

■ 盗食を抑え、栄養過不足を抑制
■ 過肥を避ける栄養管理
■ 適正なルーメン発酵で微生物叢と絨毛の発達

乾乳期のルーメン絨毛
泌乳期のルーメン絨毛

太り過ぎ…??

ビタミン

■ 適正なビタミン(A, D3, E) 給与で免疫力の維持

過肥牛の脂肪肝問題にはビタミンB群、コリンが有効

1 ナイアシン(ニコチン酸)「肝臓へ入れない」
2 パントテン酸カルシウム「肝臓へ溜めない」
3 バイパスコリン

図 体脂肪、肝臓、乳腺での脂肪代謝(Drackley 1999を改変)

タンパク質

■ 適正なタンパク質給与で母子の養分供給量を充たす(特に初産牛は母牛の成長分も加味しましょう。)

ミネラル

■ カリウム(K)の低い粗飼料を選択します
■ リン(P)、ナトリウム(Na)の過剰に注意します
■ マグネシウム(Mg)を追加しましょう
■ カルシウム(Ca)は適正な範囲で設計します
■ イオウ(S)はルーメン微生物の蛋白合成に不可欠
■ セレン(Se)は抗酸化作用で免疫力向上が期待

イオウ(S)、塩素(Cl)はDCAD管理での低カルシウム血症(乳熱)予防に活用できます

DCADとは??
「陽イオンと陰イオンのミネラルバランスの差」のことです。乾乳後期(クローズアップ)で-5meq/100gDM程度の酸性(陰イオン側)に傾けると、低カルシウム血症(乳熱)など代謝疾患の予防の一助となることが知られています。

$$DCAD(mEq/100g) = (Na^+ + K^+) - (Cl^- + S^{2-})$$

DCADを管理するための飼料ヒント
[粗飼料] クレイングラス、チモシー、ライグラスストロー、オーツヘイ
[濃厚飼料] イオウ(S)添加配合飼料、塩素(Cl)添加配合飼料

最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。
移行期の栄養管理について疑問・質問、その他、自身の農場で気になる点などございましたら、お気軽に全酪連スタッフまでご相談ください

情報提供先・全酪連仙台支所

北米コンテナ情勢

各船会社は3月より海上運賃の値上げを発表しておりましたが、主要な積出港については実施されておられません。しかし、各船会社とも海上運賃が低迷していることから様々なチャージ料を転嫁しようとしている模様です。1～2月に米国の中西部を襲った大寒波の影響で陸路による輸送の遅れなど物流が混乱しております。併せて4月末からの大型連休前の需要増加の影響から、しばらくこの混乱は続くと思われ続けております。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

US産

新穀の作付けは例年ですとアイダホ州で3月、日本向けの主産地のミネソタ州、ノースダコタ州では4月から開始されます。昨年は生産量が下方修正されたことから、今年は昨年より作付け面積は微増すると見込まれ天候によっては追加される可能性もあると予想されております。

②アルファルファ

(A)ワシントン産

18年産の生産量は17年産と比較し20%程減少しております。また、大雪の影響でダメージ品が発生して売約済の在庫が減少する模様です。国内外からの需要に対応する為、19年産は作付け前から買い付けが始まると予想されております。

米中の貿易問題で中国向けのアルファルファは例年と比較すると低調気味でしたが、中国の在庫が無くなって引き合いが始まっている情報もでており、今後の相場に影響がでる可能性があります。

(B)オレゴン産

18年産の生産量は17年産と比較すると10%程減少しております。在庫は若干あるようですが、輸出向けには価格が合わず国内向けが多くなっているようです。19年産の作付け面積は大きく変動することはない見込みです。

③チモシー

(A)US産

主産地の降雪の影響でサプライヤーからの出荷が遅れ4月末の連休前の供給に影響がでる可能性があります。19年産の作付け面積は昨年の相場が高値で推移したことから若干増加すると予想されております。

(B)カナダ産

18年産はすべて売約済となっております。相場については日本と韓国からの引き合いが強く堅調に推移しております。他の作物の相場が低調なことから19年産の作付け面積は、US産と同様に若干増加すると予想されております。

④豪州産オーツヘイ

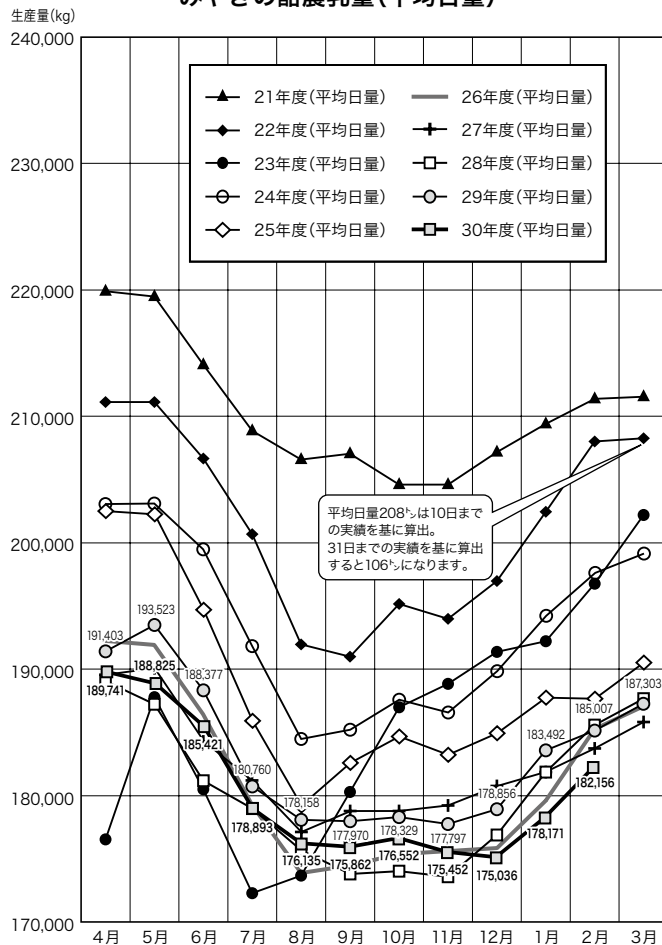
各産地とも上級品は売約済となっております。中級品以下の品物についてはサプライヤーへの追加は限定的で、一部の生産農家は価格上昇を期待して在庫を持っている模様です。日本や韓国、中国、台湾からの需要が堅調で、18年産は早魃や降雨の影響から生産量が少ないことから豪州国内需要も高まり相場は今後も堅調に推移していくと予想されます。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、引き続きご利用賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成30年度生乳生産実績(4月～2月 標準進捗率91.51%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白 石 支 部	22	5,985,315.4	5,971,160.5	100.24	6,564,964.0	91.17
七ヶ宿支 部	5	2,317,802.8	2,248,631.2	103.08	2,480,947.0	93.42
蔵 王 支 部	25	7,700,929.4	7,535,440.1	102.20	8,313,486.0	92.63
柴 田 支 部	16	3,805,704.0	3,809,546.7	99.90	4,167,393.0	91.32
角 田 支 部	7	1,932,245.0	2,006,230.4	96.31	2,200,642.0	87.80
丸 森 支 部	12	2,852,063.2	2,924,328.7	97.53	3,215,480.0	88.70
仙 台 支 部	12	3,394,911.8	3,406,759.0	99.65	3,753,861.0	90.44
名 取 支 部	6	874,403.0	827,863.0	105.62	916,535.0	95.40
黒 川 支 部	6	1,013,387.0	1,146,200.0	88.41	1,217,739.0	83.22
大 崎 支 部	19	3,177,802.0	3,213,888.0	98.88	3,497,216.0	90.87
遠 田 支 部	16	5,626,709.0	5,472,984.0	102.81	5,983,151.0	94.04
加 美 支 部	17	2,442,922.0	2,625,279.0	93.05	2,677,853.0	91.23
鳴 子 支 部	12	2,008,016.0	1,996,052.0	100.60	2,191,421.0	91.63
一 迫 支 部	12	2,836,099.0	2,770,497.0	102.37	3,066,957.0	92.47
築 館 支 部	14	1,760,831.0	1,961,397.0	89.77	2,137,794.0	82.37
瀬 峰 支 部	7	1,049,433.0	1,175,972.0	89.24	1,276,473.0	82.21
迫 支 部	12	3,867,397.0	4,087,687.0	94.61	4,457,248.0	86.77
中 田 支 部	8	1,438,229.0	1,450,937.0	99.12	1,598,876.0	89.95
東 和 支 部	7	1,091,850.0	1,108,102.0	98.53	1,217,732.0	89.66
志 津 川 支 部	9	1,176,788.0	1,303,423.0	90.28	1,428,906.0	82.36
本 吉 支 部	7	713,348.0	913,489.0	78.09	904,453.0	78.87
石 巻 支 部	6	900,545.0	983,255.0	91.59	1,079,426.0	83.43
豊 里 支 部	12	2,209,914.0	2,194,072.0	100.72	2,398,447.0	92.14
みやぎの酪農	269	60,176,644.6	61,133,193.6	98.44	66,747,000.0	90.16

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第10回理事会】

開 催 日 平成31年1月30日

付議事項 第1号議案 総務委員会および業務委員会からの答申について
(平成31年度事業計画骨子(案)について)
第2号議案 役員の定年制等に関する内規の一部変更について
第3号議案 長期資金の融資について

【第11回理事会】

開 催 日 平成31年2月28日

付議事項 第1号議案 平成30年度決算推定について
第2号議案 役員賠償責任保険の更新について
第3号議案 リース取引の更新について

【初妊牛】

支 部	販 売 者	分 娩 予 定	授 精 種
角 田	瀧口 健一	6 月 2 日	乳用種性判別
蔵 王	小島 一也	6 月 9 日	乳用種性判別
蔵 王	小島 一也	6 月12日	乳用種性判別
角 田	瀧口 健一	6 月15日	乳用種性判別
角 田	瀧口 健一	6 月17日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	6 月18日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	6 月28日	乳用種
角 田	瀧口 健一	7 月22日	乳用種性判別
角 田	瀧口 健一	8 月17日	交雑種

※価格など詳細につきましては、各所指導係までご連絡ください。

人 事 の お 知 ら せ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
有期職員 (再雇用)	佐 藤 信 義	労働契約満了 退職	仙南集乳所 販売係	平成31年1月31日
正 職 員	佐 藤 克 文	仙南集乳所 販売係	仙南支所 業務係(兼)総務係	平成31年2月1日
正 職 員	三 浦 よしゑ	定年退職	登米事業所 業務係(兼)総務係	平成31年2月28日
有期職員 (再雇用)	三 浦 よしゑ	登米事業所 業務係(兼)総務係	—	平成31年3月1日
有期職員	小 松 伸 一	哺育育成センター 生産係(採用)	—	平成31年3月1日

[編 集 後 記]

日ごとに暖くなり、春の訪れを感じる季節になってきました。また、この時期は出会いや別れなど環境の変化が多くある時期でもあります。新元号にもなるので、この春から何か新しいことにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....